



卵子凍結費用助成事業をスタート

～自分らしい生き方や働き方を応援します～

池田市では8月1日から、西日本では初の取り組みとなる卵子凍結費用助成事業をスタートします。

卵子凍結は、いつかは子どもを産み育てたいと望んでいるものの、さまざまな事情によりすぐには難しい方にとって、加齢などによる妊娠機能の低下を懸念する場合に将来の妊娠に備える選択肢の一つとして行うものです。

卵子凍結に係る費用を助成することにより、ライフスタイルの多様化に応じ、一人一人が妊娠時期を自らの希望に応じて選択できるよう支援を図ります。

内容

- 日本産婦人科学会に生殖補助医療実施施設として登録している医療機関で令和6年4月1日以降に実施した卵子（未受精卵）凍結について、卵子凍結保存費用と保存継続費用を助成
- 助成額は、卵子凍結費用が上限20万円、保存継続費用が1年ごとに2万円（最大5年間）
- 対象者は、交付申請日に池田市に住民登録をしている、採卵実施日において18歳以上39歳以下の池田市民
- 市長メッセージおよび専門医からの卵子凍結やプレコンセプションケアの解説動画を作成（市ホームページから視聴可能）
- 卵子凍結についてのLINE相談窓口を開設

予算額

- 補助金 2,000千円
- 委託料 550千円



その他

- 都道府県では、東京都が実施中で、今年度、山梨県が実施予定
- 市町村では、過去に千葉県浦安市のみが実施（西日本では池田市が初）

問い合わせ 子ども未来課 TEL072・754・6034

